

# 第 51 回全国農業経営者研究大会 開催要領

「持続可能な食料システムの構築に向けて」

## ◆ 趣 旨 ◆

近年の人口減少・少子高齢化や大都市への一極集中、気候変動と自然災害の激甚・頻発化、そして新型コロナウイルス感染症は、生産から加工、流通、消費に至る食料供給の一連の流れである「食料システム」の持続可能性に警鐘を鳴らしている。

農業・農村においては、生産年齢人口の減少と後継者不足、人や農作物へのリスクを抱え、地域社会の維持がままならなくなっている。新型コロナウイルスは、インバウンドの激減や外食需要の減少、食のサプライチェーンへの影響をもたらした。

こうした情勢のもと、2015年9月の国連サミットでは17の目標を定めたSDGs（持続可能な開発目標）が採択され、農業界でも食料の供給や環境問題の解決、経済活性化などで寄与することが期待されている。

また、EUでは気候変動に対するグリーンディール政策として、具体的な「Farm to Fork（農場から食卓まで）戦略」を掲げ、農家・企業・消費者・自然環境が一体となり、環境や食料問題を解決していく方策が示された。

これら国内外の動向を踏まえ、日本では農林水産省が2021年5月、持続可能な食料システムの構築を目的に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるための新たな政策方針として「みどりの食料システム戦略」を策定した。

同戦略では、2050年までに目指す姿として、農林水産業のCO2ゼロエミッションの実現、耕地面積に占める有機農業の取組面積割合を25%（100万ha）に拡大、化学農薬の使用量（リスク換算）を50%低減、化学肥料の使用量を30%低減などの意欲的な目標が定められた。革新的な技術・生産体系の開発とともに、生産・流通・消費の各段階が目的意識を合わせ前向きに取り組むことが強く求められる。

本研究大会では、ポストコロナ時代という変革期を迎えるなか、環境負荷のない持続可能な社会の実現を目指しつつも、自己の農業経営とともに農業・農村を発展させるために、農業者としてどのように構え、対応していくべきか、その方策を探ることとする。

◆主 催 一般社団法人 全国農業会議所  
全国農業経営者協会  
全国認定農業者協議会

◆後 援 全 国 農 業 新 聞  
全 国 農 業 図 書  
全国生活研究グループ連絡協議会

## 1. 日 時

- 1日目 全体会 令和4年2月1日（火）13時～17時  
2日目 分科会 2日（水）※時間は次ページ参照

## 2. 会 場

- AP新橋  
住所：東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス

## 3. 開催方式

- 参加者はリモート会議アプリ「Zoom」でのオンライン参加となります。  
○ Zoomによるオンライン参加…参加者数上限1000人。

## 4. 日 程

### ＜第1日目＞ 2月1日（火）13時00分～17時00分

- (1) 開 会 (13時00分)  
(2) 主催者挨拶 (13時00分～13時10分)  
(3) 全 体 会  
1) 基調講演 (13時10分～14時40分)  
題 目：「ポストコロナの農業」  
講 師：京都精華大学人文学部客員教授、武道家、思想家 内田 樹 氏

《 質疑応答・休憩 》

- 2) みどりの食料システム戦略について (14時50分～16時35分)

- ① みどりの食料システム戦略の概要説明  
講 師：農林水産省大臣官房バイオマス政策課  
② EUの先行事例や、対応方法の具体論などの解説  
講 師：名古屋大学大学院教授 香坂 玲 氏  
③ 質疑・意見交換

- 3) 情報提供 (16時35分～17時00分)

- ①農業DX（デジタルトランスフォーメーション）について  
農林水産省大臣官房 参事官（デジタル戦略グループ長） 窪山 富士男 氏  
②農業者のリスクと保険について  
全国共済農業協同組合連合会（JA共済連）

《第1日目終了》

**<第2日目> 2月2日(水)**

<b>(1) 米政策分科会</b> <b>企画：全国稲作経営者会議</b>	<b>時間：9時00分～12時00分</b>
<p><b>【定員】100名(オンライン)</b> <b>【テーマ】「地域を支える持続可能な水田農業の確立を目指して」</b> <b>【内容】</b> 米の需要は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、主食用米、特に飲食・観光向けの外食用の需要動向に非常に大きな影響を受け、令和3年産米については過去最大の作付け転換が行われた。 そこで地域農業を支え、自らも経営を更に力強いものとして確立し永続的な営農活動ができるよう、下記の通り講師をお招きし、分科会を行う。</p> <p>① 「米を巡る情勢について(仮)」 講師：農林水産省 農産局(調整中)</p> <p>② 「子実用トウモロコシを巡る情勢について(仮)」 講師：農林水産省 畜産局(調整中)</p> <p>③ 「世界の3大穀物 トウモロコシを作ろう！」 講師：有限会社盛川農場 代表取締役 盛川 周祐 氏</p> <p>④ 「全国農業会議所からの情報提供」 一般社団法人全国農業会議所(調整中)</p>	
<b>(2) 養鶏分科会</b> <b>企画：全国養鶏経営者会議</b>	<b>会場：5階Kルーム</b> <b>時間：9時00分～12時00分</b>
<p><b>【定員】100名(オンライン)</b> <b>【テーマ】「今こそ考えよう！養鶏業界の今後について」</b> <b>【内容】</b> 養鶏業界は、以前から続く卵価の低迷や一昨年から続く高病原性鳥インフルエンザの発生により見通しの立てづらい状況が続いている。 そこで我が国の採卵鶏のトップシェアを誇るイセ食品株式会社の田中氏をお招きし、今後の養鶏業界の展望を講演頂き、意見交換を行う。</p> <p>① 「イセ食品株式会社の考える今後の養鶏業界(仮)」 講師：イセ食品株式会社 代表取締役 社長 田中 保成 氏</p> <p>② 意見交換 等</p> <p><b><u>※分科会後に開催予定の役員会は、正副会長及び監事のみ参加願います。</u></b></p>	

<b>(3) 肉用牛分科会</b>	<b>会場：4階Eルーム</b>
<b>企画：全国肉用牛経営者会議</b>	<b>時間：13時00分～14時30分</b>
<p><b>【定員】100名（オンライン）</b></p> <p><b>【テーマ】「国内外の飼料・穀物市場を取り巻く情勢について」</b></p> <p><b>【内容】</b></p> <p>昨今、飼料等は急激な価格高騰を起こしている。とりわけ、飼料原料は多くを海外からの輸入に頼っており、不安定な状況が続いていることから、肉用牛経営にも大きく影響を与えている。</p> <p>そこで、本分科会では飼料に関する諸問題について学び、自らの肉用牛経営の持続的確立・発展を目指す。</p> <p><b>【講師】株式会社資源・食糧問題研究所 代表取締役 柴田 明夫 氏</b></p> <p>※分科会終了後、「全国肉用牛経営者会議 2022年通常総会」を開催予定（同会議会員のみ参加可能）。</p>	
<b>(4) 都市農村交流分科会</b>	<b>会場：4階Fルーム</b>
<b>企画：農のふれあい交流経営者協会</b>	<b>時間：9時30分～11時30分</b>
<p><b>【定員】100名（オンライン）</b></p> <p><b>【テーマ】「農村活性化に向けた「農村型RMO（地域運営組織）の促進」</b></p> <p><b>【内容】</b></p> <p>農村地域では人口減少・高齢化が進み、農業の衰退に加え、商店やガソリンスタンドの撤退、公共交通機関や役場機能の縮小など生活に不安を抱える。</p> <p>そこで、地域の維持・活性化のため地域住民が主体となり、産業振興や生活支援等を行う「地域運営組織（RMO）」の取組を学び、推進する。</p> <p>① 農村型RMOの概要・取組状況・支援策・今後の展望について 講師：農林水産省農村振興局 中山間地域・日本型直接支払室長 岩下 幸司 氏</p> <p>② 農村型RMOに取り組む事例発表（予定）</p> <p>③ 質疑応答</p>	

## 5. 参加対象

- 1) 全国農業経営者協会・県農業経営者組織の会員及び関係機関・団体の関係者等
- 2) 認定農業者および認定を目指す農業者
- 3) 全国農業経営者組織連絡協議会の構成団体会員
- 4) その他自立的な農業経営者およびその関係者、従業員等

## 6. 参加費

本年度は無料といたします。

## 7. 参加申込の注意点

- 1) 参加申し込みについては、別紙申込書に必要事項をお書きいただき、都道府県農業

会議、県農業経営者組織を通じて、一般社団法人全国農業会議所経営・人材対策部宛にご報告ください。

申込締め切り：令和4年1月25日（火）

- 2) **新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン限定での開催とさせていただきます。**
- 3) 「Zoomを利用できるパソコンやスマートフォン」をご用意ください。申込書に記載のメールアドレスへ開催前日を目途に、参加URLとID、パスワードをお送りします。メールを受信する端末（パソコン、スマートフォン等）が「@nca.or.jp」からのメールを受信できるよう設定してください。

## 8. その他

- 1) 懇親会については、昨年度に引き続き、感染症対策のため開催しません。
- 2) 会場参加の方は、感染症対策のため、マスク着用や手指の消毒など、感染防止策にご協力をお願いします。
- 3) 新型コロナウイルスの感染拡大などやむを得ない事情によりプログラムを変更する場合があります。その際には都道府県農業会議への連絡や全国農業会議所ホームページなどで事前にお知らせします。
- 4) 反社会的勢力に該当すると認められる場合は、お申し込みを受け付けすることができません。
- 5) お申し込み多数の場合、ご参加人数の調整をお願いすることがございます。
- 6) やむを得ない事情により、予告なくプログラムに変更が生じる場合がございます。
- 7) 録音、撮影、キャプチャ、スクリーンショットはご遠慮ください。
- 8) ご記入いただいた氏名、住所、電話番号、その他の個人情報は、当会の「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.nca.or.jp/contact/#contact1>)に従って適切に取り扱います。
- 9) お預かりした個人情報は、当協会において本セミナーの運営及び本セミナーに関する連絡、今後のセミナーなどのご案内、セミナーなど企画の参考の目的に限り利用し厳重に管理します。

<この件に関する問い合わせ・参加申込先>

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6

全国農業経営者協会【事務局：一般社団法人全国農業会議所 経営・人材対策部】

担当：青木（大会全般、都市農村）、渡邊（大会全般、米政策）

上野（養鶏、米政策）、小嶋（肉用牛）

TEL：03-6910-1124 FAX：03-3265-5140 E-mail：ninaite@nca.or.jp